記者発表資料

平成２５年５月２３日
湯沢河川国道事務所

「河川水辺の国勢調査」春季調査の調査速報
～5月14日から16日にかけて行った調査結果（速報版）～

河川事業や河川管理の基礎資料とするため、瀬や淵の状況等を調査する「河川調査」と河川内の魚介類、植物、鳥類等の生息・生育状況等を調査する「生物調査」を、平成2年から「河川水辺の国勢調査」として、定期的、継続的、統一的に行っています。

今年度は、前回調査から9年ぶり4回目となる両生類・爬虫類・哺乳類調査を、5月14日から16日にかけて6地点で調査を行いました。

速報版として、確認された種についてお知らせします。なお、夏季調査は6月下旬頃を予定しています。

※5月10日に関連記者発表済み

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所では、雄物川上流部および玉川など６支川、総延長 115.9km を管理しています。

■春季調査結果（速報版ですので、変更になる場合があります）

両生類：　９種を確認
爬虫類：　４種を確認
哺乳類：１２種を確認

《参考：過去調査（１年間）で確認された種数》
両生類：１１種(1994)→１１種(1999)→１２種(2004)　※のべ１３種を確認
爬虫類：　７種(1994)→　５種(1999)→　６種(2004)　※のべ　７種を確認
哺乳類：１７種(1994)→１３種(1999)→１９種(2004)　※のべ２２種を確認

※重要種の確認
（特別天然記念物、環境省レッドリスト、秋田県レッドデータブック掲載種）
両生類２種（トウホクサンショウウオ、アカハライモリ）
哺乳類４種（ニホンリス、ムササビ、キツネ、カモシカ）

《参考》
■調査地点（位置図参照）及び調査時期
雄物川本川　３地点
支川（玉川、皆瀬川、成瀬川）各１地点
春季・夏季・秋季・冬季の４回調査します。
■調査体制
３人
なお、本調査にあたっては、小笠原暠秋田大学名誉教授にアドバイス頂いております。

当事務所ＨＰ URL（http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/）
※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局

《問い合わせ先》
国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話０１８３－７３－５５４４
技術副所長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）（内線２０４）
調査第一課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３５１）

確認された重要種



【確認種：両生類】トウホクサンショウウオ　卵のう



【確認種：両生類】アカハライモリ　成体



【確認種：哺乳類】ニホンリス　成体



【確認種：哺乳類】ムササビ　糞

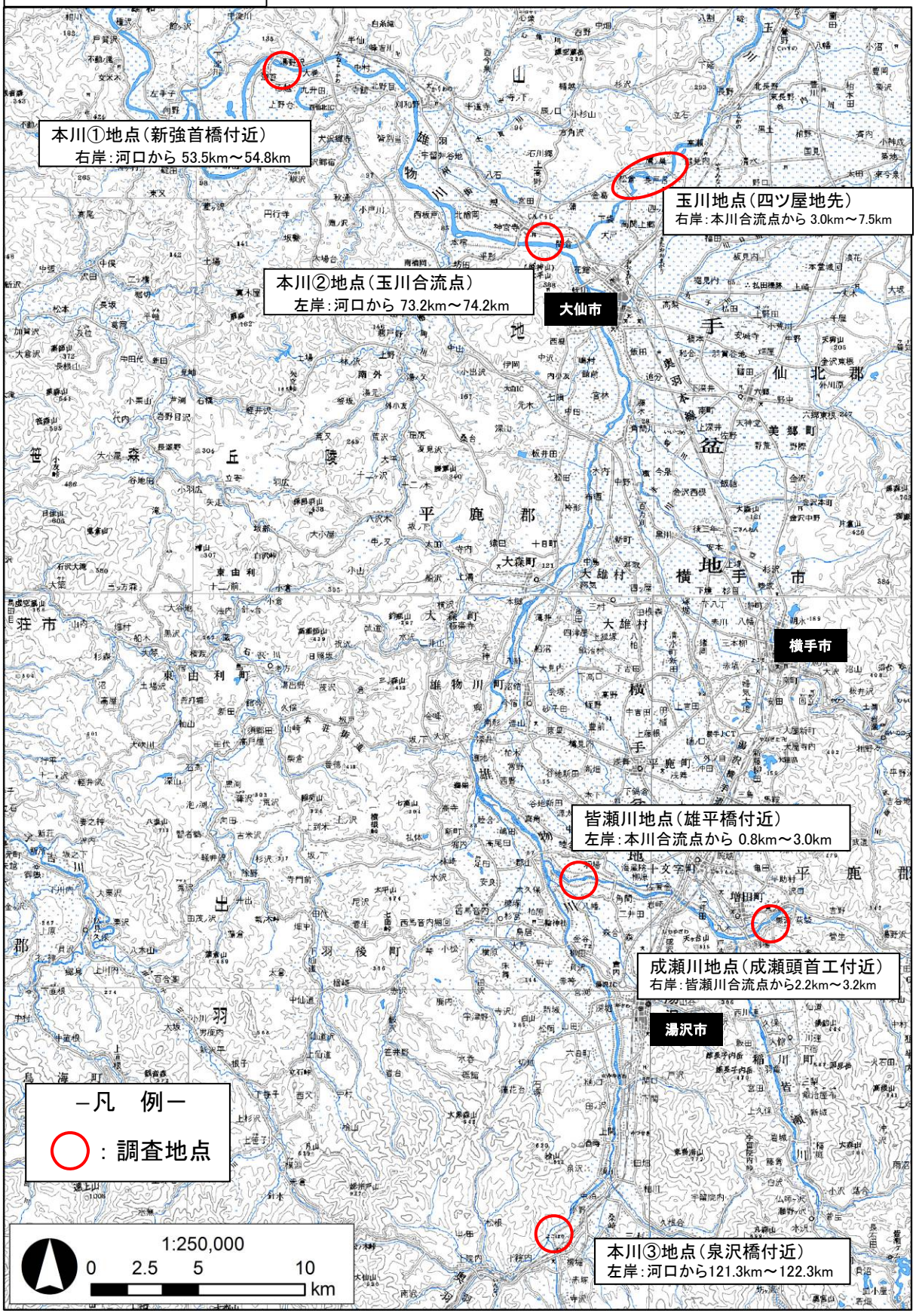


【確認種：哺乳類】キツネ　糞



【確認種：哺乳類】カモシカ　足跡

■調査位置図


本川①地点（新強首橋付近）
右岸：河口から 53.5km～54.8km
玉川地点（四ツ屋地先）
右岸：本川合流点から 3.0km～7.5km
本川②地点（玉川合流点）
左岸：河口から 73.2km～74.2km
大仙市
横手市
皆瀬川地点（雄平橋付近）
左岸：本川合流点から 0.8km～3.0km
成瀬川地点（成瀬頭首工付近）
右岸：皆瀬川合流点から2.2km～3.2km
湯沢市
本川③地点（泉沢橋付近）
左岸：河口から121.3km～122.3km
－凡　例－
：調査地点
1:250,000
0 2.5 5 10
km